

令和3年11月30日



担当課	障害者支援課
担当者	宇津、川端
電話	(073) 435-1060
内線	5136

## 令和3年度 和歌山市障害者福祉表彰 表彰式の開催について

本市では、身体障害者、知的障害者又は精神障害者の福祉の増進に功績のある個人又は団体に対し、和歌山市障害者福祉表彰に関する規則に基づき表彰を行います。

- 主催 和歌山市
- 日時 令和3年12月4日（土）午前11時から（45分程度）
- 場所 和歌山市役所14階 大会議室
- 被表彰者 別紙被表彰者一覧のとおり
- 来賓 和歌山市議会議長、和歌山市議会厚生委員会委員長

### 6 内容

#### <表彰の目的>

障害者福祉の増進に功績のある個人又は団体を表彰します。

#### <表彰の種類と対象者>

表彰種類	対象者	令和3年度の被表彰者数
障害福祉賞	福祉増進に功績顕著で市民に夢と希望を与えた者 (障害者であるなしを問わず)	1人
自立更生者賞	障害を克服、自立更生して他の範と認められる者 (障害者本人)	2人
家族功労者賞	障害者の自立と社会参加に対する功労が顕著な者 (障害者と同居する親族)	1人
更生援護功労賞	障害者の更生援護に永年尽力して功績が顕著な者 (障害者であるなしを問わず)	3人
優良訪問介護員賞	障害者の訪問介護に永年尽力して功績が顕著な者 (訪問介護員)	該当者なし

計 7人

令和3年度 和歌山市障害者福祉表彰 被表彰者一覧

障害福祉賞

推薦者	氏名	性別	年齢	障害種別	職業	経歴概要
福祉事務所長 保健所長	えだ ゆうすけ 江田 裕介	男	63		和歌山 大学 教授	<p>平成9年10月和歌山大学教育学部助教授へ就任、平成15年4月に教授となる。障害者のコミュニケーションや学習活動を支援する教育技術の研究を行い、特に先進的な工学技術を導入することで、重度障害者の活動の制限が大きく改善される成果を示した。こうした研究の結果を、学校や施設における教職員の研修会等で共有し、実践研究を通じて教育や福祉の現場への普及、啓発に努めている。また、自ら大きな業績をあげるとともに、教育者として多数の人材を世に送り出しており、障害者福祉の向上のため献身的な活動を続けている。</p> <p>また、和歌山市障害者計画及び和歌山市障害者福祉計画策定委員長や和歌山市自立支援協議会の委員長を務める。令和3年3月に策定された第5期和歌山市障害者計画、第6期和歌山市障害者福祉計画及び第2期和歌山市障害児福祉計画への貢献は大きい。</p>

自立更生者賞

推薦者	氏名	性別	年齢	障害種別	職業	経歴概要
和歌山市 身体障害者連盟 会長	むらた ようこ 村田 容子	女	49	肢体 障害 聴覚 障害	就労継続 支援A型 勤務	<p>平成元年4月兵庫県認定の後呂和裁高等職業訓練校へ5年間通い、和裁を習得。平成9年4月から琴の浦福祉工場へ就職し、特殊電池やリチウム電池部品の組み立てを担当。</p> <p>余暇を利用し、ふうせんバレーやフライングディスクなどの障害者スポーツ教室や、全国障害者スポーツ大会へ積極的に参加。陸上、ソフトボール投げ、フライングディスクの大会では優秀な成績を収めている。</p> <p>また、和歌山市肢体障害者協会の琴の浦分会では、会計を担当し、分会の運営に努めるなど、福祉団体活動にも大いに貢献している。</p>
和歌山市 障害児者父母の会 会長	えのもと せいや 榎本 誠也	男	29	知的 障害	支援学校 事務員	<p>和歌山県立紀北支援学校を卒業後、社会福祉法人つわぶき会綜成苑の就労支援事業を利用し、福祉就労センターつつじが丘苑へ移籍。真面目な性格で、主にミシン作業に取り組んでいた。平成26年12月から、和歌山県立紀北支援学校で事務補助員として採用される。書類の仕分けや郵送物の準備、給食時の配膳、草刈りなど多岐にわたる業務を行っている。仕事の優先順位をつけ、空いた時間で先生に頼まれた業務も行う。</p> <p>また休日には、サッカークラブの一員としてグラウンド貸し出しの際に必要な書類の作成や、鍵当番などを受け持ち社会活動にも参加するなど、障害福祉に対する貢献度が高い。</p>

### 家族功労者賞

推薦者	氏名	性別	年齢	障害種別	職業	経歴概要
和歌山市 身体障害者連盟 会長	にしなか ようこ 西中 洋子	女	62	視覚 障害		平成19年10月、鍼灸マッサージ師として病院に勤務後、自宅にて鍼灸マッサージ施術所を開業していた利明氏と結婚。自らも視覚障害者でありながら、永年にわたり家事や家業を重ね、同じ障害を持つ夫を支えており、円満な家庭を営んでいる。 また、和歌山市視覚障害者福祉協会の役員として、夫婦そろって要職を担い、指導的立場で活躍するなど人望も厚い。

### 更生援護功労賞

推薦者	氏名	性別	年齢	障害種別	職業	経歴概要
和歌山市 障害児者父母の会 会長	さとう かずみ 佐藤 和美	女	70			知的障害を持つ子の母親として懸命に我が子を育て、平成9年に和歌山市障害児者父母の会の理事に就任、他の会員の先頭に立って、施設建設のため積極的な活動を行ってきた。平成14年には、保護者会の監事に就任、平成27年からは社会福祉法人つわぶき会の評議員も務め、親の立場から施設の運営を支えている。 地域交流の一環である清掃活動や祭りなどの交流の場にも積極的に参加。祭りでは、計画・準備段階から協力し、当日には模擬店の責任者となり、活気あふれる祭りにしてきている。 温厚で誠実な人柄で、他の会員からの信頼も厚い。
和歌山市 精神障害者家族会 「つばさの会」 会長	いそ ともこ 磯 知子	女	76			平成9年につばさの会に入会。当初は重度の障害の子の治療に懸命に取り組む一方で、家族会活動にも力を注いできた。平成26年4月に役員に就任し、平成27年2月からは理事としてつばさの会を支えている。役員就任の前から、イベント等に可能な限り参加し、物品販売などで力を発揮するなど、つばさの会の運営や、社会福祉活動に大きく貢献している。
社会福祉法人 つわぶき会 理事長	いしばし ゆみこ 石橋 由美子	女	71		看護師	平成7年9月に社会福祉法人つわぶき会綜成苑に看護師として就職し、現在に至るまで、専門職としての知識や経験を活かし、現場職員と連携を密にして施設を利用する人の健康管理に務める。急な疾病等には昼夜問わず対応し、健康維持増進や疾病対策、施設集団感染の予防など広範多岐にわたる業務を行い、健全な生活の維持に傾注する姿勢は模範とすべきものである。 地域と障害者との交流や理解を深めるための夏祭りでは、準備や打合せにおいて、常に衛生医療班の中心としてリーダーシップを発揮し、地域の人々からの信頼も得ている。 また、障害者スポーツ大会に参加するなど、障害者の社会参加にも積極的に取り組んでいる。